

有限会社 平葭建設

平成25年度 環境活動レポート

対象期間

平成25年9月～平成25年11月



作成日 平成25年12月 1日

更新日 平成 年 月

当社は昭和43年創業以来、建設業をととして地域のインフラ整備の促進につとめてまいりました。また、近年ではダリア園など観光産業、無農薬・無肥料による自然栽培米の生産など経営の多角化をはかっております。地球温暖化など地球環境の悪化が懸念される今日、二酸化炭素の削減などの環境対策は緊急の課題であり、全社をあげてエコアクション21に取り組む所存です。

有限会社 平葎建設

代表取締役 平 葎 雄 市

I 環境方針

環境理念

有限会社 平葎建設は青森県南部地方、戸来岳を源流とする三川目川のほとりにあり、昭和43年以来、建設業に係る企業経営に取り組んできました。当社は、この地域の美しい自然環境を将来世代に引き継いでいくために、地域の環境保全に寄与することが重要であると認識しております。このため、建設業に係る事業活動に際し、環境負荷の低減及び環境保全活動のために、自主的・積極的に取り組んでいくことを誓約します。

行動方針

- 1、建設工事より発生する産業廃棄物の再資源化に取り組み、リサイクル率を向上させます。
- 2、工事車輛のエコドライブを実践し、省エネと排ガスの抑制に努めます。
- 3、事業所での省資源、省エネルギー、節水のため、最新技術の導入に努めます。
- 4、建設工事より発生する建設副産物のリサイクルの推進に努めます。
- 5、グリーン購入の推進に努めます。
- 6、化学物質の使用量を適正に管理し、定期的に使用量を確認します。
- 7、事業活動に関連する法規制は、確実に遵守することを誓約いたします。
- 8、環境活動レポートの公表など、地域との環境コミュニケーションに努めます。
- 9、無肥料・無農薬米等の生産をつうじて、環境にやさしい農業の振興に努めます。

作成日 平成25年 9月 1日

更新日

代表取締役 平 葎 雄 市

II 組織の概要

1 名称及び代表者名

有限会社

代表取締役

2 所在地 〒039-1801

青森県三戸郡新郷村大字戸来字川台66

3 環境管理責任者及び担当者連絡先

責任者 総務部長 TEL090-6624-1897

担当者 総務主任 TEL090-7062-4580

4 事業活動の内容

①総合建設業

②観光ダリア園、ダリア球根販売

③自然栽培米、大豆等生産販売

5 事業規模

資本金 2,000万円

売上高 2億6千8百万円(平成24年度)

6 対象範囲(認証・登録範囲)

(有)平葎建設の全組織及び全活動を対象とする。

7 事業年度

平成25年度

8 レポートの対象期間

今回の環境活動レポートは、平成25年9月から平成25年11月までの試行(トライアル)について報告いたします。

有限会社 平葭建設

(有)平葭建設			
本社	所在地	青森県三戸郡新郷村大字戸来 字川台66番地	従業員数 34名 床面積 289m ²
資材置場 (沢出口)	所在地	青森県三戸郡新郷村大字戸来 字沢出口2番地1	床面積 151m ²
機材倉庫	所在地	青森県三戸郡新郷村大字戸来 字沢出口7番地1	床面積 381m ²
倉庫	所在地	青森県三戸郡新郷村大字戸来 字沢出口1番地2	床面積 49m ²
倉庫	所在地	青森県三戸郡新郷村大字戸来 字沢出口2番地1	床面積 135m ²
車庫	所在地	青森県三戸郡新郷村大字戸来 字沢出口7番地1	床面積 99m ²
資材置場 (雨池)	所在地	青森県三戸郡新郷村大字戸来 字雨池7番地2	面積 6164m ²
観光 ダリア園	所在地	青森県三戸郡五戸町大字扇田 字長下夕2-75	面積 5000m ²

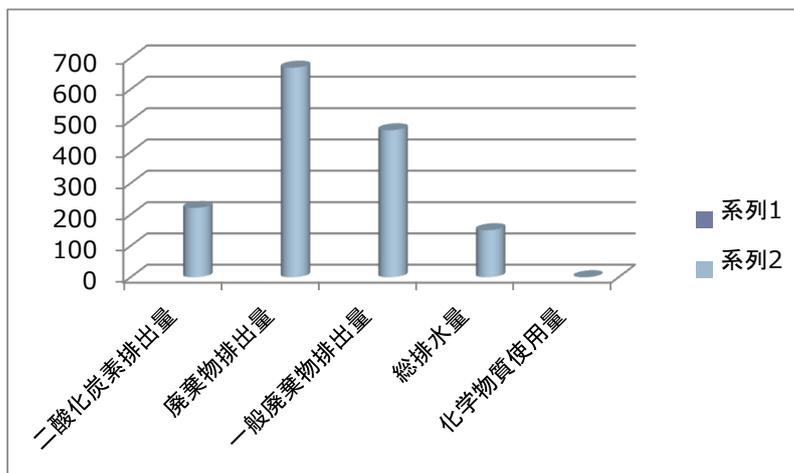
Ⅲ 環境目標

1 主な環境負荷の実績

表1、主な環境負荷の実績

項目	単位	平成24年 (基準年)	平成25年	平成26年	平成27年
二酸化炭素排出量	t-CO ₂	221			
廃棄物排出量	kg/年	669			
産業廃棄物排出量	kg/年	200			
一般廃棄物排出量	kg/年	469			
総排水量(水資源投入量)	t/年	150			
化学物質使用量	kg/年	0			
環境配慮製品・商品の販売	万円/年	120			
グリーン購入	万円/年	100			
再資源化率	%	99			

(注)二酸化炭素排出量(電力)の算定に使用した排出係数は0.547kg-CO₂/kwhです。



2 環境目標の設定

当社では、平成24年度を基準年度として中長期及び単年度の環境目標を、それぞれ表2のとおり設定し、環境活動に取り組んでおります。

表2 環境目標

基準年度(平成21年度)比の削減(増加)率(%)

項目	中長期目標	単年度目標		
	H27年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
二酸化炭素排出量	7%削減	3%削減	5%削減	7%削減
一般廃棄物排出量	7%削減	3%削減	5%削減	7%削減
産業廃棄物排出量	7%削減	3%削減	5%削減	7%削減
建設副産物再資源化の推進	99%達成	99%達成	99%達成	99%達成
総排水量(水資源投入量)	7%削減	3%削減	5%削減	7%削減
化学物質使用量削減	——	化学物質の使用量を適正に管理し、定期的に確認する。		
グリーン購入	——	環境物品の購入を推進する。		
自らが生産・販売・提供する製品及びサービスに関する項目	830%	330%増加	660%増加	830%増加

3 環境目標の実績

当社では、環境目標の達成状況の確認・評価を行いました。
今回は、エコアクション21を開始した平成25年9月から11月までの実績
についての評価結果を報告いたします。

表3 平成25年度の環境目標の達成状況等

項目	単位	基準年 実績値	当該年度			環境目 標の達 成状況
			削減(増 加)率%	目標値	実績値	
電力の二酸化炭素	kg-CO ₂ /年	1860kg	3%削減	1804kg	1784kg	達成
ガソリン・軽油等の二酸化炭素	kg-CO ₂ /年	39285kg	3%削減	38105kg	40872kg	未達成
灯油、LPGの二酸化炭素	kg-CO ₂ /年	4038kg	3%削減	3917kg	5245kg	未達成
二酸化炭素合計	kg-CO ₂ /年	45183kg	—	43826kg	47901kg	未達成
一般廃棄物	kg/年	118kg	3%削減	114kg	161kg	未達成
産業廃棄物	kg/年	200kg	3%削減	50kg	0kg	達成
建設副産物再資源化の 推進	%	99%	——	99%	100%	達成
総排水量(節水)	m ³ /年	40m ³	3%削減	38.8m ³	25m ³	達成
化学物質使用量削減		—	—	行動目標	無	—
グリーン購入		50万円	—	行動目標	3万円	—
自らが生産・販売・提供する製品及びサービスに関する項目	万円/年	60万円	330%増加	198万円	357万円	達成

(注)二酸化炭素排出量(電力)の算定に使用した排出係数は0.546kg-CO₂/KWhです。

Ⅳ 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

表4 主な環境活動計画の内容と取組結果

環境方針	環境目標項目	取組内容	実施状況の評価	取組結果・次年度の取組内容
二酸化炭素排出量の抑制	電力の二酸化炭素の削減	①使用していない照明をこまめに消す。 ②使用していないパソコンの電源をきる。 ③休暇前に暖房設備の電源を切る。 ④人がいない場所の扇風機の電源を切る。 ⑤事務所内を時間禁煙とする。	○	目標達成 ①～⑤について次年度以降も継続して取り組む。
	車両用(建設機械)の燃料の二酸化炭素削減	①無駄なアイドリングをしない。 ②作業をしていない重機のエンジンを切る。 ③急ブレーキ、急発進をしない。 ④適正な走行スピードを守る。 ⑤駐車中の車輛のエンジンを切る。	△	目標未達成 ①～⑤について次年度以降も継続して取り組む。
	灯油・LPG等の二酸化炭素の削減	①冬期における事務所内の暖房温度を20度とし必要以上に室温をあげない。 ③休暇前に暖房設備の電源を切る。 ④作業所において発電機を使用する場合は作業効率を考慮した設備とする。	△	目標未達成 ③について次年度は重点項目として取り組む。
廃棄物排出量削減	一般廃棄物の発生抑制	①一搬廃棄物は、燃えるごみ、燃えないごみ、空き缶、ペットボトル、ビンに分別し所定のごみ箱に入れる。 ②作業所より発生した一般廃棄物についても同様とする。	△	目標達成 今後も廃棄物の分別方法等について継続して指導、助言を行う。
	産業廃棄物の削減(建設副産物の再資源化率の増加)	①金属くず、空き缶、ペットボトル、ビンなどの資源ごみはできるだけ回収し、きめられた日に処分業者に処分してもらう。 ②建設現場等で発生する建設副産物の再生利用率向上のため、工夫する(木材のチップ化等建設資材として再利用する) ③建設現場等で発生する廃棄物を混合廃棄物としないよう徹底する ④建設現場等で発生する混合廃棄物を分解等して分別し、リユース、リサイクルする ⑤廃棄物管理票(マニフェスト)をもとに廃棄物の適正な処理を行う	○	目標達成 今後も廃棄物の分別方法等について継続して指導、助言を行う。
騒音・振動防止		①住宅密集地で騒音、振動を発する建設機械を使用する場合は、可能な限り低騒音、低振動のものを使用する。 ②建設機械等を使用し施工する時間帯を考慮する。	○	目標達成 対象となる現場がなかった。次年度も取組みを継続する。
節水・排水の適正管理		①事務所内で洗濯する場合は必要最低限の水量とする。 ②重機、車輛の洗車の際は、洗車効率を考慮し、無駄な水を使わない。 ③河川への油類の流出を防止する。 ④	○	目標達成 次年度も作業所においてオイルレスキューを設置するなどの油漏れ対策を行う。
化学物質の管理推進		①建設現場等における化学物質は、必要最小限度の使用量とし、保管は原則行わない ②化学物質を使用する場合は、使用量、保管量を把握し、記録・管理する。 ③化学物質の安全性に関する情報伝達のため、MSDS(化学物質安全データシート)により管理する。	○	目標達成 次年度も化学物質を使用する場合は、使用の管理を徹底する。
グリーン購入		①環境物品リストを作成し、それに基づき購 ②環境ラベル認定品等を優先的に購入す ③再生材料から作られた製品を優先的に購入、使用する。	△	目標未達成 ①について次年度は重点項目として取り組む。
製品・サービスに関する環境配慮		①無肥料・無農薬米、大豆等の環境配慮型農作物の増産につとめる。 ②ダリア球根販売を通じて、地域の緑化及び環境美化の促進につとめる。	○	目標達成 ダリア園入場者数は前年比60%の増加となった。自然米生産販売についても大幅な伸びとなった。次年度も取組みを継続する。

○:評価できる、△:ますます評価できる、×:評価できない

3、環境活動の状況

(1)建設業



社内安全講習会



朝礼、安全ミーティング

(2)ボランティア活動



中学生 職場体験学習(ダリア園 花芽摘み作業)



中学生 職場体験学習(本社 測量技術)



五戸地方建設業協会 五戸川河川敷草刈りボランティア

(3) 観光ダリア園



平成25年度(8月～11月)の入場者数は6,300人となり、前年比60%の増加となりました。

(4) 自然栽培米・大豆生産販売



自然栽培米、田植え作業



自然栽培米 除草作業(田車掛け)



大豆覆土作業

自然栽培米、大豆生産実績

		H23年	H24年	H25年		
作付面積	米	0.6ha	1.2ha	2.7ha		
	大豆	2.5ha	2.7ha	4.3ha		
収穫量	米	2100kg	3540kg	9810kg		
	大豆	2910kg	1874kg			

※米については作付面積、収穫量とも順調に伸びている。
大豆については作付面積を拡大しているにもかかわらず、収穫量は減少しており無肥料、無農薬生産の厳しい現実に直面している。

V 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

当社が法的義務を受ける廃棄物処理法など、環境関連法規について遵守状況をチェックしたところ違反はありませんでした。また、過去3年間、関係当局からの違反等の指摘、住民からの苦情、訴訟等について問題はありません。

VI 代表者による全体評価と見直しの結果

エコアクション21の重要性を早く認識させるよう努め、環境方針、環境目標を達成できるようにすること。
環境活動は小さな事の積み重ねが必要であると思われるので、常に気を配るように心がけること。